

く ら わ ん か D M O

「楽しい」「おいしい」 あふれる京阪奈のど真ん中

事業計画

2026年2月

一般社団法人くらわん観光マネジメント

1. 私たちについて①

私たちは「一般社団法人くらわん観光マネジメント」です！

枚方に豊富にある地域全体の観光資源を最大限に活用し、持続可能な観光地域づくりを推進するために設立した団体です。

▼組織概要

項目	内容
設立	2023年1月12日
区分	地域DMO
代表者	代表理事 井關 拓史
住所	枚方市藤阪東町4丁目1番56号
理事	小野島 颯馬 河本 昌信 小山 裕貴

1. 私たちについて②

設立以来、さまざまな観光事業に取り組んできました！

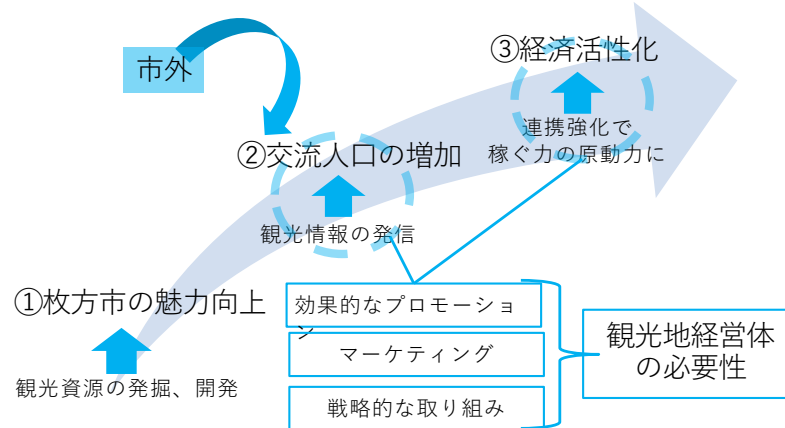
▼主な活動経過

	時期	内容
2023	3月	観光庁の候補DMO(地域DMO) に登録
	7月	ひらかた七夕まつり 初の枚方市からの受託事業。前年比10倍の集客を達成し、以降、毎年受託。
	10月	かわまちづくり堤防活用実証実験 ※以降、毎年受託。令和9年度の拠点整備に向け市とともに推進中
2024	9月	新たな観光案内所Syuku56（枚方モール内）がオープン ※コンセプトの具体化、レイアウトから市に伴走し運営を受託（物販は自主事業）
2025	4月	マチノマ広場オープン ※枚方市駅北口にできた公共空地を活用した広場運営を受託。
	9月	水都くらわんか花火大会でインバウンド向け販売やホテル宿泊連携 大阪関西万博に〇〇で出展
	12月	大阪観光局とともに開発したインバウンド向けツアー発売

2.枚方市の観光施策が目指しているもの（「観光施策に関する考え方」）

観光施策が目指すべきもの

- ①枚方市の魅力向上
- ②交流人口の増加
- ③経済の活性化



「観光施策に関する考え方」のストーリー

- ①地域資源を知り、磨き上げることが枚方市の魅力向上につながる。
- ②観光情報を発信して枚方市への訪問を増やすことが交流人口の増加につながる。
- ③訪問した人が市内で購買活動することで経済の活性化につながる

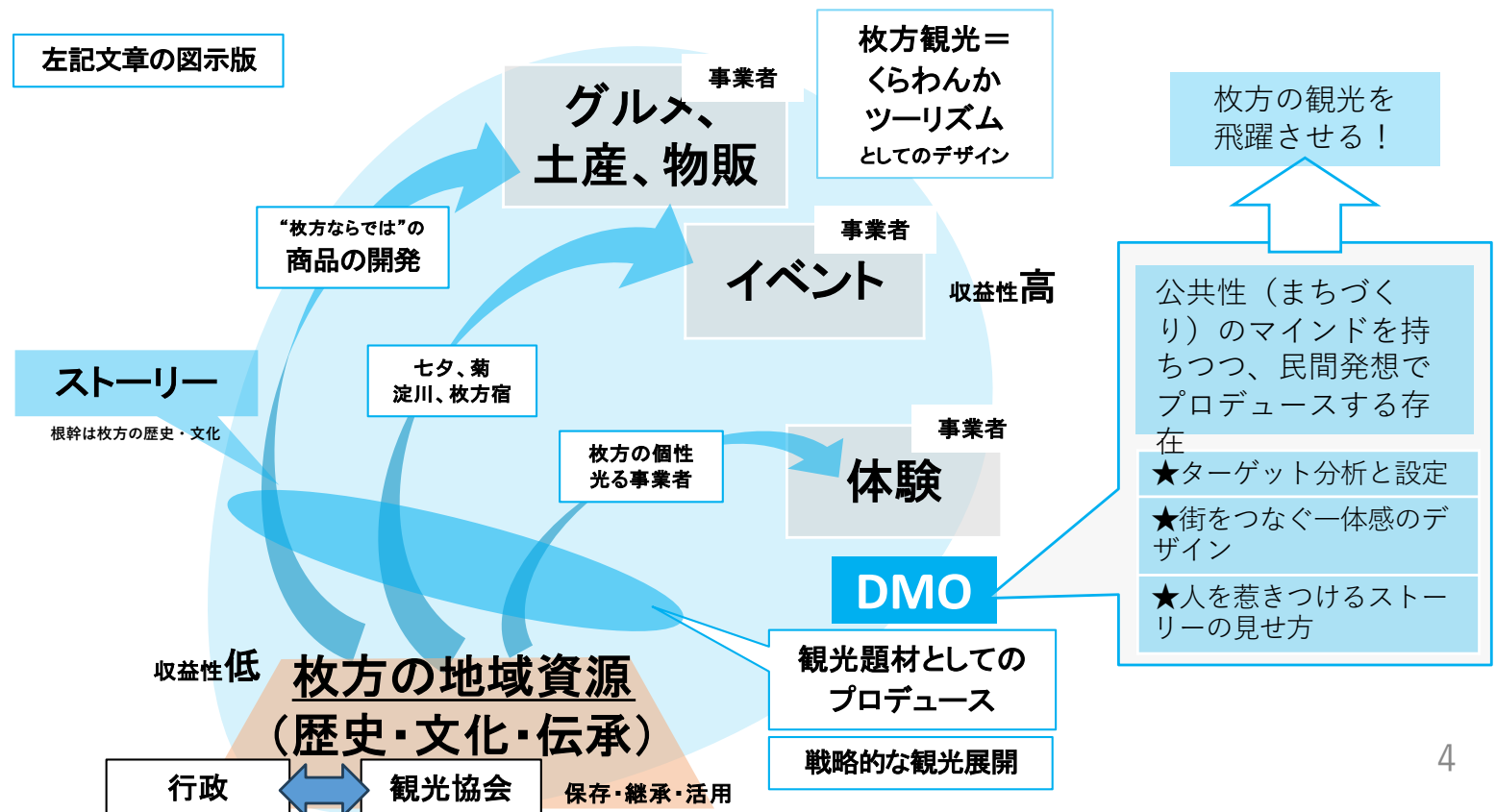
「観光施策を戦略的に進めるにあたっては、マーケティング手法を取り入れた観光地域づくりの体制について検討する必要がある」としている。

令和5年2月に示した方針

大阪・関西万博を見据えた
観光施策の推進体制について

（1）観光施策の担い手の連携について

枚方文化観光協会については、歴史や文化・伝承といった本市観光施策の「礎」となる地域資源の保存や継承・活用に根差した事業展開を求めるものとし、また、設立を目指す観光地域づくり法人（DMO）については、これら地域資源を観光事業の題材に、経営視点を持って地域経済の活性化につなげていく事業プロデュースを行うものとし、この二者が観光施策の担い手としてそれぞれの役割を明確化することで、相互に連携・協力しながら観光施策を戦略的に推進できる体制を構築します。



3.枚方市の観光施策が目指しているもの

枚方市観光ロードマップ

思わず立ち寄りたくなる

淀川の中継港へ

「枚方宿」起点に観光をデザイン

枚方に行けば **楽しい** **おいしい** が待っている！

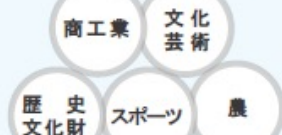
2025年大阪・関西万博に向け、大阪湾から上流までの淀川舟運の周航が可能に！
思わず立ち寄りたくなる淀川の中継港をコンセプトに観光まちづくりを進めます。

枚方観光 =

くらわんか
ツーリズム

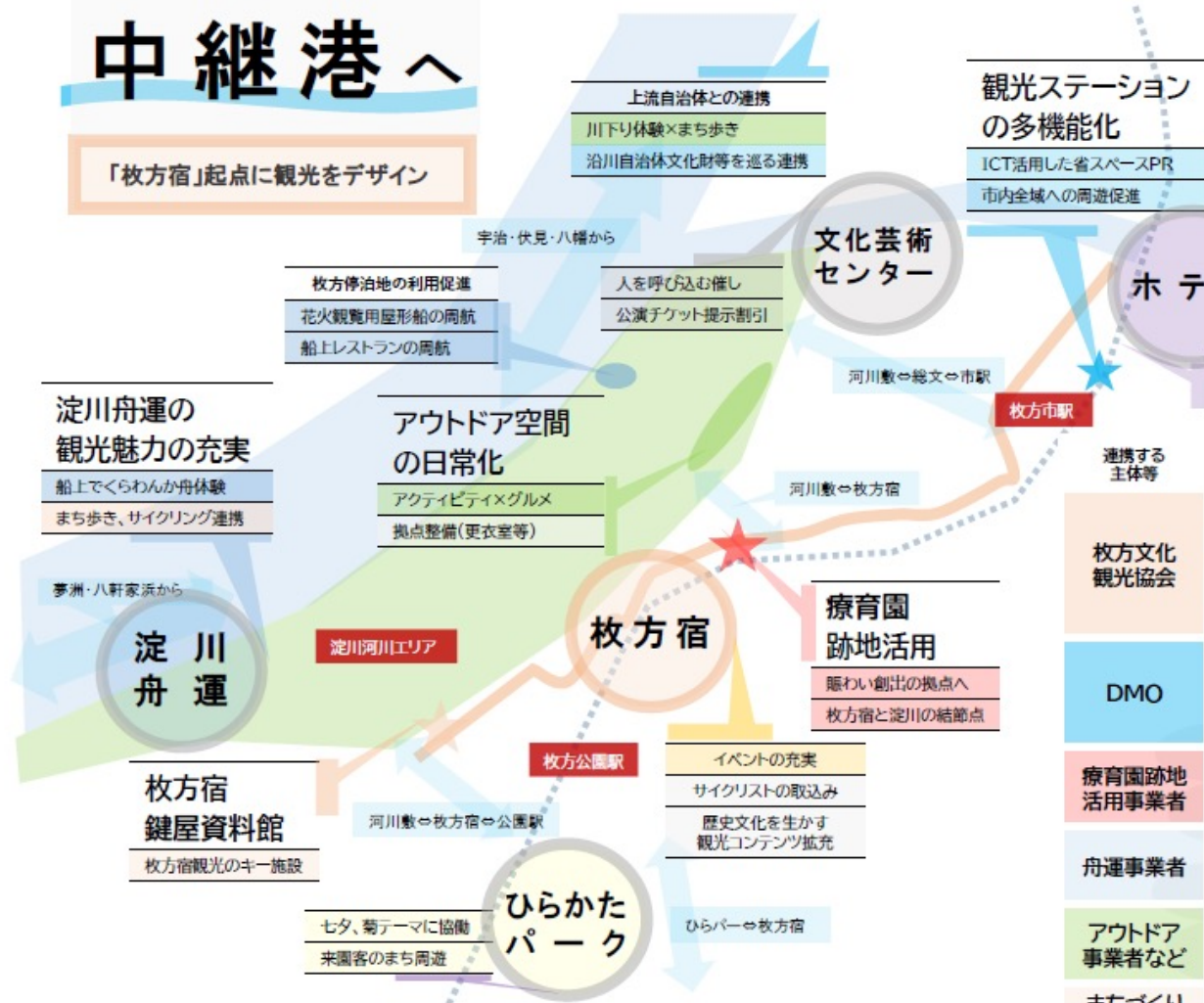
地域資源を活用

百済寺跡や楠葉台場などの歴史・文化財、盛んな文化芸術活動、東部地域の農資源、パナソニックパナソニックなどプロスポーツチーム、枚方T-SITEやくずはモール、市内企業まで観光連携を図りツーリズムを実施していきます。



万博後も見据え推進

内容	R4年度	R5	R6	R7	R8以降
現観光ステーション	観光発信 物産 10月 開業				
鍵屋資料館(指定管理)	鍵屋拠点観光情報発信	資料館運営	管理官公募	法定事業による施設運営	
観光事業の展開	現行観光事業		ロードマップに沿った観光事業		
新たな観光ステーション			地域全体への回遊もたらす多機能展開	くらわんかツーリズムの発信拠点	
地域資源生かしたツーリズムの展開	設立準備・候補DMO登録		収益性のあるツーリズム企画・実施		
療育園跡地活用事業者	販わい創出の拠点へ 枚方宿と淀川の結節点	サウンディング公募	施設整備	販わい創出の拠点となる集客 周遊もたらせる地域連携 枚方宿・淀川の結節点	
舟運事業者	枚方発着便の運航	八軒家浜⇨枚方の周航、観光コンテンツ強化	枚方停泊地・船着場の活用	夢洲/八軒家浜⇨枚方⇨上流域の周航	
アウトドア事業者など	アクティビティの展開 キッチンカー出店	実践実験	イベント定着	アウトドア空間の日常化	
まちづくり協議会	五六市など		枚方宿くらわんか五六市をはじめとするイベントの展開など		
ホテル	宿泊者のまち周遊	建設		観光施策と連携 観光支援(国定資産税相当額の補助)	
ひらかたパーク	市観光施策との連携			七タ、菊テーマにした共同イベントやパーク利用者のまち周遊に向けた連携	

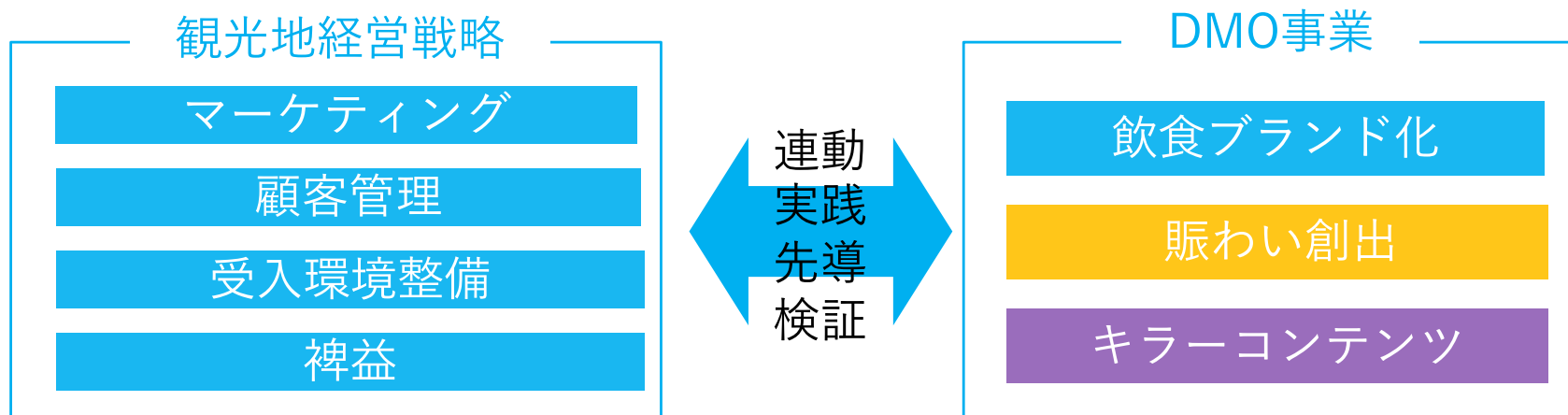


4. 【観光地経営戦略の策定】ビジョンと取り組みのスタンス

「楽しい」「おいしい」あふ
れる京阪奈のど真ん中

通過から滞在・消費へ

枚方の多様な資源（歴史・自然・商業・イベント）を“点から面へ”束ねる

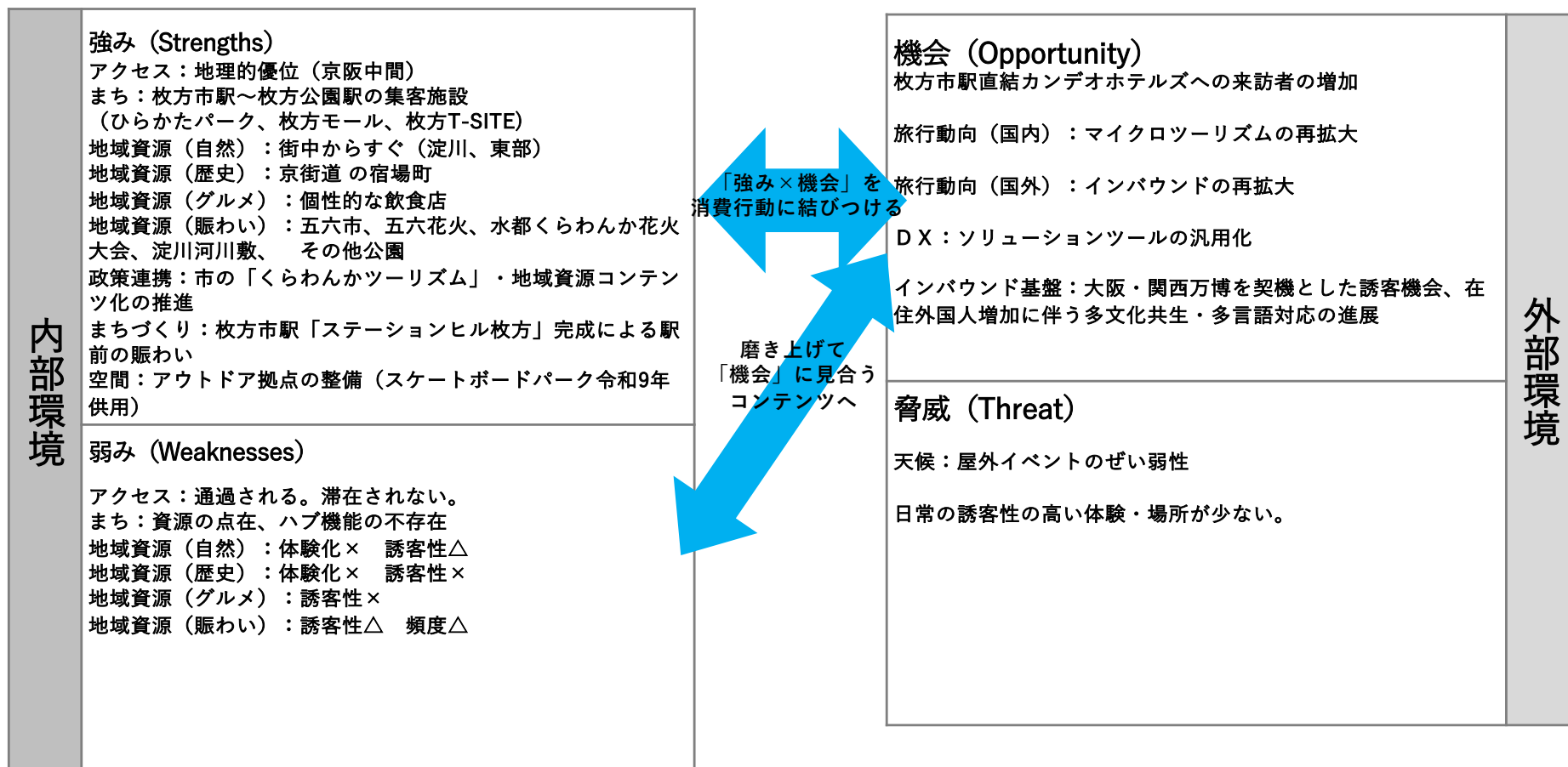


DMO自ら事業実施を手掛け市内事業者を先導していく

- ★“宿泊→通過” から “宿泊→周遊”に転換
- ★住宅都市ならではの豊富な市民向けサービスを訪問客向けに拡張
- ★広域誘客を実現しているイベントの磨き上げ

5. 【観光地経営戦略の策定】マーケティング（分析）

■枚方市の強みと弱み／現在の機会と脅威

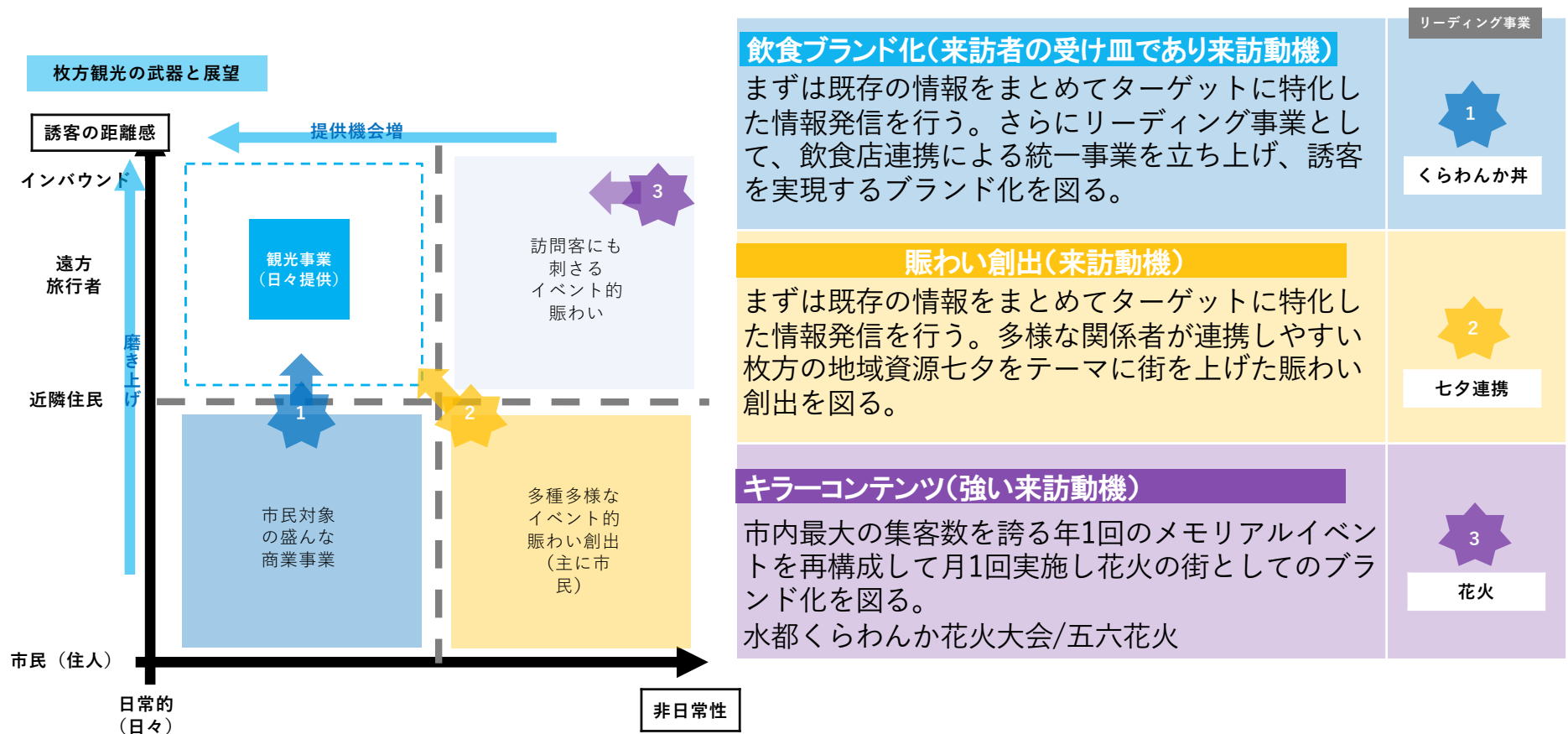


6. 【観光地経営戦略の策定】マーケティング（提供価値）

	ターゲット1 近隣ファミリー層	ターゲット2 府外からの宿泊者	ターゲット3 インバウンド
ターゲット 設定理由	枚方市内の商業活動の最大の顧客である市民層の延長として設定する。コンセプトは「休日の選択肢を作る」。週末の出掛け先として、枚方で創られる「楽しみ」が選択され、市内事業者への経済循環を作る。	消費単価が高く、かつ目の前にいるのに市内消費に結び付けられていないことから、ターゲット設定して取り組むことで、マクロの数値としては小さいかもしれないが着実に消費行動に結びつくような仕掛けを作る。 市内で保有する大型コンテンツ（水都くらわんか花火大会やひらかたパークなど）を目的に来訪する方もいるため、プラスアルファでの周遊や消費へつなげていく。	外国人からも人気の高い世界的な観光地「大阪」「京都」へ来訪するインバウンドに向けた商品化に引き続き取り組む。まずは、旅中（もっというなら枚方に来ている人＝まずは宿泊者）へのプロモーションを大前提とし、刺さるコンテンツを実験的に作っていく。
自地域の 立ち位置・提供 価値	週末のお出掛け先が見つかる 大阪都市圏の30～60分圏に居住人口が集中し、短時間外出の近場志向が強い。枚方は鉄道アクセスが良好で、主要施設周辺に滞在・購買のポテンシャルがある。子連れでも回リやすく、都市近接×自然×水辺で半日でも満足できる「今週末に気軽に行ける」を提供	せっくなら枚方で食べていこう カンデオホテルズやサンプラザホテルなど、大阪・京都へのアクセスの良さから枚方市内で宿泊のみで利用し、市内へは足を延ばさない層が一定数いることが分かっている。「枚方へ宿泊する」ことの付加価値化を図る。「せっくなら枚方に泊まったんだから枚方もんを食べていこう」という動機を作る	間にええところあるやん 大阪・京都滞在者の近郊マイクロトリップ需要があり、当日予約への反応が高い。時間がある方へは造成したツアーなど枚方市の歴史を感じられる非日常の体験を提供。 時間がない方へは枚方市駅周辺の枚方宿の京街道など歴史を感じられるスポットの提供。

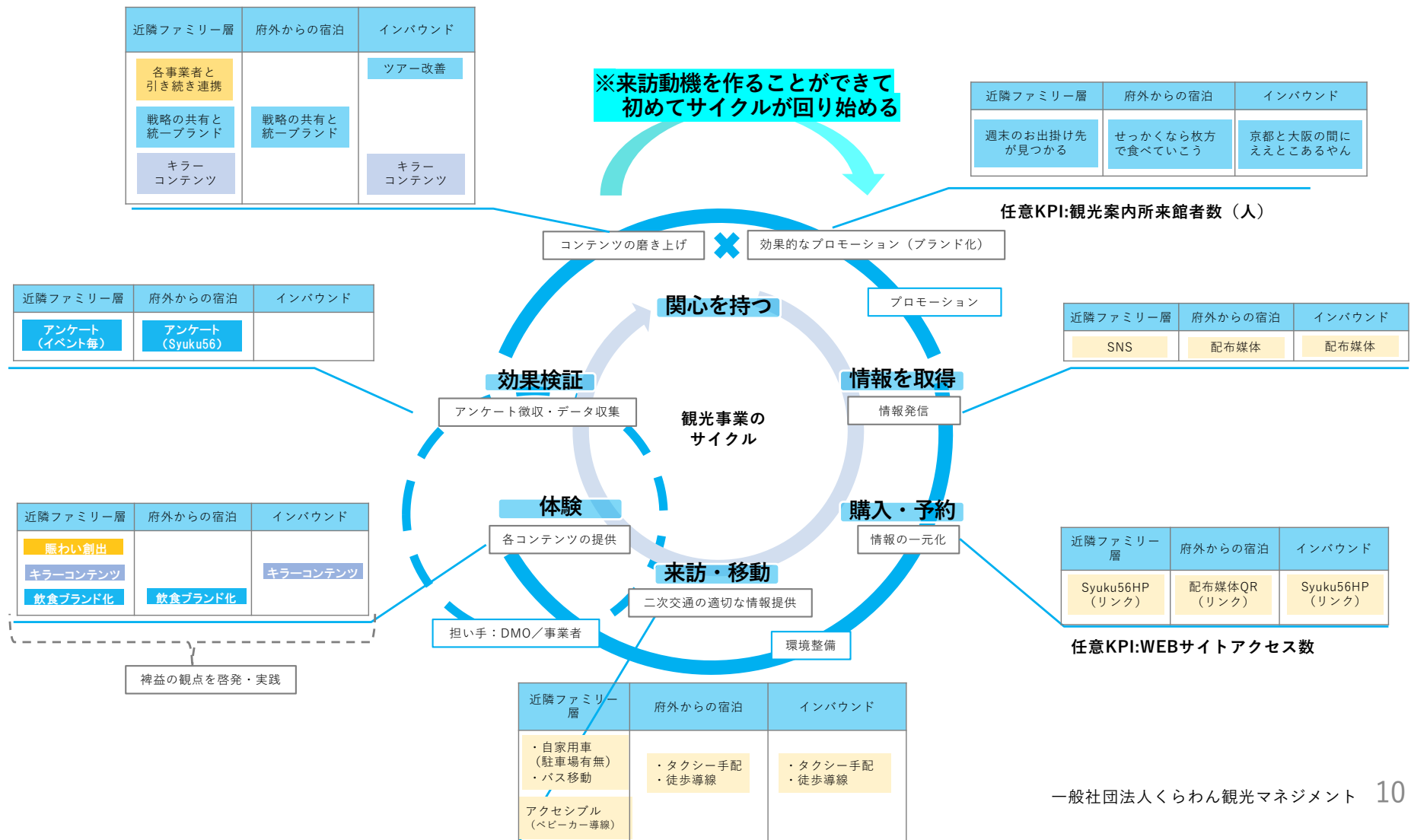
7. 取り組んでいきたいこと

- 「枚方の地域資源を生かす」「DMOとしての実績」をベースに
- ・市民向けに日々提供している事業を再編集し誘客につなげる（磨き上げ）
 - ・市民向けかつイベント開催がメインとなっている事業は、さらなる誘客に向けた磨き上げと提供機会の拡張の両面を図る
 - ・すでに誘客につながっている事業は拡充や拡張を図る（提供機会機会の増）



8. 地域みなさんとともに。

我々が取り組んでいくのは枚方の地域資源で観光誘客を図るというチャレンジ
「効果的な発信をしていく」×「誘客の起爆剤を作る」の両輪を進めていきます！



9. KGI・KPI実績及び目標

項目 【単位】		2025年		今後3年間の目標					
				2026		2027		2028	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
KGI									
旅行消費額	全体	19,768,420	24,670,535	25,904,062	—	28,494,468	—	29,919,191	—
【千円】	インバウンド	1,564,837	1,645,870	1,728,164	—	1,900,980	—	1,996,029	—
(任意KGI)	-				—		—		—
【単位】									
KPI①(地域全体の成果)									
一人当たり旅行消費額	全体	4,817	6,027	6,328	—	6,961	—	7,309	—
【円】	インバウンド	22,581	25,443	26,715	—	29,387	—	30,856	—
延べ宿泊者数	全体	797	812	853	—	938	—	985	—
【千人】	インバウンド	48	70	74	—	81	—	85	—
来訪者満足度	全体	87	94	88	—	89	—	90	—
【%】	インバウンド	87	92	88	—	89	—	90	—
持続可能な観光に対する住民満足度	-	30	24	25	—	26	—	27	—
【%】									
観光事業者の平均給与額	-	2,640,000	2,677,500	2,757,825	—	2,840,560	—	2,925,777	—
【千円】									
月別来訪者数の平準化率	-	93	92	93	—	93	—	94	—
【%】									
観光案内所来館者数	-	70,000	59,693	60,887	—	62,105	—	63,347	—
【人】									
WEBサイトアクセス数	-	5,000	17,631	17,984	—	18,343	—	18,710	—
【人】									

10. 2026年計画

五六大花火の開催・くらわんか井の完成・観光案内所の機能充実

実行計画	2026年										2027年	
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ターゲットに対するマーケティング	「くらわんか井」サンプル制作依頼	「くらわんか井」サンプル制作依頼			くらわんか井の販促物制作	・くらわんか井の販促物制作 ・宿泊者へのアンケート	くらわんか井完成	・くらわんか井の販売開始 ・導入店舗の拡大営業	「くらわんか井」巡りの周遊企画の実施。宿泊者向けデジタルマップとの連動強化。	「くらわんか井」巡りの周遊企画の実施。の周遊企画の実施。宿泊者向けデジタルマップとの連動強化。	「くらわんか井」巡りの周遊企画の実施。の周遊企画の実施。宿泊者向けデジタルマップとの連動強化。	参画店舗へのヒアリング調査および「くらわんか井」事業の年間成果検証
マネジメント区域における受入環境整備							多言語案内・手ぶら観光カウンターの利用の試運転	多言語案内・手ぶら観光カウンターの利用の試運転			多言語化対応実績の検証	
顧客管理	・システム構築 ・アンケート設置	・システム構築 ・アンケート設置	・システム構築 ・アンケート設置	システム構築	LINE配信の設計	LINE配信の設計	LINE友達追加促進の施策	LINE友達追加促進の施策			2027年度(デジタル観光マップ構築)に向けた要件定義およびシステム仕様の策定。	LINEアカウントの分析。来年度に向けた開発計画の決定
観光による受益を広く地域に行き渡らせる取組		五六大花火	五六大花火	五六大花火	五六大花火	水都くらわんか花火大会	五六大花火	五六大花火	五六大花火	五六大花火	五六大花火	五六大花火の評価と分析
その他		花火の特別宿泊プランの設定	花火の特別宿泊プランの設定				次年度に向けた枚方市観光戦略推進会議。登録事業者を集めた総会開催	ディズニーパレード誘致等に向けた施策の検討開始	ディズニーパレード誘致等に向けた施策の検討開始			2026年度全体のKPI達成状況の検証